



原っ子つうしん

教育目標：～自らの可能性に挑戦する活力ある原っ子～

令和8年

6月23日(火)

印西市立原小学校

校長室便り No.3

イエローリボン(命を大切にする)キャンペーン



本校の「いじめ防止対策基本方針」による活動の一つとして、6月に全校で「イエローリボン(命を大切にする)キャンペーン」に取り組みます。子どもたちが自他の命や心を大切にすることを考えることにより、いじめを許さないという意識を高めることを目的としています。



イエローリボンは、世界中の様々な国で使われています。国によっては様々な意味を持っていますが、どの国でも共通して、相手のことを思ったり心配したりするシンボルとして使われています。

原小学校では、嫌な思いや、悲しい思いをする人がいなくなるように、命を大切にする、いじめを許さない気持ちを育む取組をしています。

児童一人一人が考えたことを、廊下等に掲示してありますので、ご覧ください。

【子どもたちから】

いじめをなくすためには、いじめられている様子を見た人が見ていないふりをしないことだと思いました。

「希(きずな)」を読んで、命は何にもかえられないほどに大切な宝物だと思いました。この物語を読むと、今の私は幸せなんだと思いました。今、私が家族と一緒にいられて、友達と笑顔で遊んでいることが自分にとって、みんなにとっての宝物だと思います。自分が今持っている命は当たり前ではないと心から思いました。

いじめている人を見かけたら、「だめだよ。」という。いじめられている人には「だいじょうぶ」と声をかけたい。

いじめをする原因の一つはストレス発散だと思うので、他の人を巻き込まずに、大人などに相談するようにすれば、いじめを減らせるのではないだろうか。

いじめられている子によりそって、一緒に先生に言えたら良いと思いました。

人が一生懸命にやっていることは、私もその人のことを一生懸命に応援したい。また、人が嫌なことをして不快にさせることしないようにしようと思いました。

友達は笑って楽しんでいるように見えても、本当は嫌かもしれないので、自分がされて嫌なことはしません。